

15年史

飯能ロータリークラブ

15年史



飯能ロータリークラブ



飯能ロータリークラブ

創	立	昭和39年7月22日
承	認	昭和39年11月2日
認	証状伝達式	昭和40年4月7日
創	立会員	36名
区	域	飯能市、日高町、名栗村
事	務所	飯能商工会議所内
例	会場	埼玉銀行飯能支店
例	会日	水曜、12時30分
姉	妹クラブ	韓国東清州R.C.
子	クラブ	越生毛呂R.C.

● 飯能ロータリークラブ年表

西 暦	1964.7~1965.6	1965.7~1966.6	1966.7~1967.6	1967.7~1968.6	1968.7~1969.6	1969.7~1970.6	1970.7~1971.6	1971.7~1972.6	1972.7~1973.6	1973.7~1974.6	1974.7~1975.6												
年 号	39.7 ~ 40.6	40.7 ~ 41.6	41.7 ~ 42.6	42.7 ~ 43.6	43.7 ~ 44.6	44.7 ~ 45.6	45.7 ~ 46.6	46.7 ~ 47.6	47.7 ~ 48.6	48.7 ~ 49.6	49.7 ~ 50.6												
月 日	7.9.22 ~ 11.11.9	7.7.14 ~ 12.17.27	7.7.6 ~ 11.25.16	7.9.5 ~ 12.14.14	7.8.3 ~ 10.19.4	7.9.23 ~ 11.27.4	8.9.19 ~ 11.23.23	9.10.21 ~ 12.19.19	8.9.16 ~ 11.20.17	7.8.25 ~ 10.13.9	7.9.3 ~ 11.18.19												
飯能ロータリークラブ年表	ガバナー公式訪問 及び工場見学(飯能繊維工業) 国際ロータリー加盟承認状伝達式(飯能市公会堂) チャーター伝達式案内状発送 クラブ協議会 国際ロータリー加盟承認 第358地区年次大会に参加(ホテル・オートタニ) クラブ創立総会 36名にてスタート	ガバナー公式訪問 第358地区協議会参加(ヒルトン・ホテル) 県下、新田会長、幹事会出席(埼玉会館) ガバナー公式訪問 ノーネクタイ・サンダル履に1000円罰金を決定 インターアクト地区大会参加(浦和) 年末助け合い寄附金贈呈 ボーイスカウト大会に助成金贈呈 クラブ協議会	第357地区協議会参加(東京プリンス・ホテル) 創立以来初めての100%出席を記録 第4分区ICGFに参加(入間RC) 定款改正、名乗村加入 西武地区ゴルフ大会、当クラブが団体優勝 ガバナー公式訪問 大久保三男会員逝去、退会 あり クラブ協議会、次年度より第358地区を2地区に分割の通告 創立より100回例会	第357地区協議会参加(東京プリンス・ホテル) ICGFに参加(所沢RC) 国際親善のため招待 飯能・入間・狭山RC合同でジョンソン基地にて、外人夫人を ガバナー公式訪問 埼玉国体開会式に会長出席 敬老の日のお祝い 埼玉銀行に移す(150例会) 第357地区(埼玉県・千葉県)新発足、例会場を商工会館から 第357地区年次大会(川越R・C) 青少年不良化防止のため悪書追放箱を市内各駅に設置 ガバナー公式訪問 ロータリー財団委員新設、ロータリー会費3ドルから4ドルに	新聞少年に慰労品を贈呈(121名) ICGFに参加(東松山R・C) 創立5周年誌編集委員会開催 第357地区年次大会(川越R・C) 第357地区協議会参加(ヒルトン・ホテル) ICGFに参加(所沢RC) 国際親善のため招待 飯能・入間・狭山RC合同でジョンソン基地にて、外人夫人を ガバナー公式訪問 埼玉国体開会式に会長出席 敬老の日のお祝い 埼玉銀行に移す(150例会) 第357地区(埼玉県・千葉県)新発足、例会場を商工会館から 第357地区年次大会(川越R・C) 青少年不良化防止のため悪書追放箱を市内各駅に設置 ガバナー公式訪問 ロータリー財団委員新設、ロータリー会費3ドルから4ドルに	国際RI会長夫妻の歓迎会に会長・幹事出席 創立5周年記念式典 (東京パレスホテル) 小川泰君逝去・退会 シドニー国際大会に参加(8名) ICGFに参加(狭山RC) 土肥無二三会員逝去 第1回優良従業員表彰 姉妹クラブのニュー清州RC訪問(26名) ガバナー公式訪問 韓国ニュー清州RCと姉妹クラブ締結 佐野万次郎会員逝去、退会 毛呂・越生RC認証式に全員参加 ガバナー公式訪問 ICGF(飯能RC) 国際RI会長夫妻の歓迎会に会長・幹事出席 創立5周年記念式典 (東京パレスホテル)	親睦旅行、名古屋RC訪問(下呂温泉) プリチーストン工場見学 第357・358地区連合年次大会 ICGFに参加(所沢RC) 飯能・入間・狭山RC合同例会 新聞少年表彰 ガバナー公式訪問 親睦家族会、夜の東京見物 西武地区ゴルフ大会団体優勝 小川泰君逝去・退会 シドニー国際大会に参加(8名) ICGFに参加(狭山RC) 土肥無二三会員逝去 第1回優良従業員表彰 姉妹クラブのニュー清州RC訪問(26名) ガバナー公式訪問 韓国ニュー清州RCと姉妹クラブ締結 佐野万次郎会員逝去、退会 毛呂・越生RC認証式に全員参加 ガバナー公式訪問 ICGF(飯能RC) 国際RI会長夫妻の歓迎会に会長・幹事出席 創立5周年記念式典 (東京パレスホテル)	ローザンヌ国際大会に出席(3名) ICGFホスト(飯能RC) 小林貞治会員逝去・退会 第8分区合同例会(飯能RC) 老人ホームへ医療ベッド贈呈 ガバナー公式訪問 親睦旅行、名古屋RC訪問(下呂温泉) プリチーストン工場見学 第357・358地区連合年次大会 ICGFに参加(所沢RC) 飯能・入間・狭山RC合同例会 新聞少年表彰 ガバナー公式訪問 親睦家族会、夜の東京見物 西武地区ゴルフ大会団体優勝 小川泰君逝去・退会 シドニー国際大会に参加(8名) ICGFに参加(狭山RC) 土肥無二三会員逝去 第1回優良従業員表彰 姉妹クラブのニュー清州RC訪問(26名) ガバナー公式訪問 韓国ニュー清州RCと姉妹クラブ締結 佐野万次郎会員逝去、退会 毛呂・越生RC認証式に全員参加 ガバナー公式訪問 ICGF(飯能RC) 国際RI会長夫妻の歓迎会に会長・幹事出席 創立5周年記念式典 (東京パレスホテル)	ミネアポリス国際大会に出席(5名) 例会場でエレクトーン初演奏 ICGFに参加(狭山RC) 丸広よりエレクトーンの寄贈 部門別協議会(飯能RC) ガバナー公式訪問 ローザンヌ国際大会に出席(3名) ICGFホスト(飯能RC) 小林貞治会員逝去・退会 第8分区合同例会(飯能RC) 老人ホームへ医療ベッド贈呈 ガバナー公式訪問 親睦旅行、名古屋RC訪問(下呂温泉) プリチーストン工場見学 第357・358地区連合年次大会 ICGFに参加(所沢RC) 飯能・入間・狭山RC合同例会 新聞少年表彰 ガバナー公式訪問 親睦家族会、夜の東京見物 西武地区ゴルフ大会団体優勝 小川泰君逝去・退会 シドニー国際大会に参加(8名) ICGFに参加(狭山RC) 土肥無二三会員逝去 第1回優良従業員表彰 姉妹クラブのニュー清州RC訪問(26名) ガバナー公式訪問 韓国ニュー清州RCと姉妹クラブ締結 佐野万次郎会員逝去、退会 毛呂・越生RC認証式に全員参加 ガバナー公式訪問 ICGF(飯能RC) 国際RI会長夫妻の歓迎会に会長・幹事出席 創立5周年記念式典 (東京パレスホテル)	親睦旅行(潮来・成田空港) 観覧会、横田基地の米人ご家族を迎えて(観山荘) ICGFに参加(入間RC) 創立10周年史発行 部門別協議会参加(入間RC) 石井尊四郎会員逝去・退会 「職業奉仕について」のテーマで繁田正一バスターガバナーの卓話 ガバナー公式訪問、10周年記念式典 (1ドル換算3000円) 石井(尊)、武居、小室会員ポール・ハリス・フェリーの表彰さる 会員分納決まる(7・10・4・6月の4回)	佐藤栄作元首相死去 サウジアラビアのファイサル国王暗殺さる 狂乱物価加速 三木内閣成立 佐藤栄作前首相ノーベル賞受賞 丸の内三菱重工ビル爆破事件 ルバン島で小野田寛郎30年ぶり救出 バーバニック騒ぎ トイレットペーパー、洗剤、砂糖のペー 供給削減を通知 国際石油資本5社日本に約10%の原油 不明 金大中氏東京のホテルより連行され行方 米ソ核戦争に関する協定調印 ニクソン大統領ベトナム戦争終結宣言 田中首相訪中 ミュンヘンオリンピック大会開催 田中角栄内閣成立 川端康成氏ガス自殺 高松塚古墳発見 連合赤軍浅間山荘にて猟銃乱射 グアム島の密林で横井庄一発見 ニクソンショック発表	同時期の主要事項 トンキン湾事件 東京オリンピック大会開催 東京オリピック大会開催 東京国際空港公団法公布 愛知県犬山市に明治村開村 チャールズ・W・ベッテンギル死去 東京オリピック大会開催 トンキン湾事件	平岡文夫 副会長・幹事 双木卯之助・斎藤承吉 ガバナー 神守源一郎 ターゲット ロータリーに生きよう チャールズ・W・ベッテンギル	小林貞治 新井清平・浅見滝次郎 竹田恒徳 行動、強化、継続性 C.P.H.ティーンストラ	双木卯之助 小川泰・吉島力良 松方三郎 ロータリーでよりよい世界を リチャード・L・エバンス	新井清平 土肥無二三・小川郁次郎 川名正寿 ロータリアンとしてあなたの資格を 効果的に フレーザー・H・ホッジ	小川泰 石井尊四郎・荒井栄 広沢輝雄 参加し敢行しよう 東ヶ崎 潔	土肥無二三 梨木三六・井上太平 森田勝彦 再検討し、刷新しよう ジェームス・F・コンウェイ	石井尊四郎 武居藤吉・武田正章 河野秀夫 隔りを取り除こう ウィリアム・E・ウォークJr	梨木三六 中里進・溝口卓男 青山幸高 善意は先ずあなたから アントス・G・ブライトホルツ	武居藤吉 小川郁次郎・江原 寿 半田利一 もう一度見直そう ロイ・D・ビックマン	中里進 吉島力良・曾根丈治良 繁田正一 命こそ行動のとき ウィリアム・C・カーター	荒井栄 井上太平・細田徳二郎 渡辺道夫 ロータリーの精神を振るい起こせ ウィリアム・R・ロビンズ

1975.7~1976.6													1976.7~1977.6													1977.7~1978.6													1978.7~1979.6													1979.7~1980.6																																																																																																																																	
50.7 ~ 51.6													51.7 ~ 52.6													52.7 ~ 53.6													53.7 ~ 54.6													54.7 ~ 55.6																																																																																																																																	
7	8	9	11	12	12	12	1	2	2	3	3	4	6	6	6	7	8	9	9	11	12	12	2	2	2	3	3	3	6	6	6	7	9	10	10	11	12	12	2	2	2	3	5	5	5	6	6	6	7	7	8	9	9	10	10	10	10	11	12	1	1	1	2	4	4	5	6	6	6	6	7	8	8	9	9	9	9	10	11	11	11	12	1	2	2	3	4	4	6	6	6	6	6																																																																																								
1	20	11	8	7	17	24	22	18	25	10	11	21	9	10	30	7	6	1	8	29	10	22	29	16	22	9	20	23	22	23	29	6	7	12	10	16	7	14	21	4	22	1	10	10	14	21	22	29	5	29	30	7	14	27	3	7	8	29	20	3	9	13	24	16	4	11	16	5	6	13	14	4	22	29	8	14	8	15	19	3	3	14	24	25	26	16	13	23	18	9	23	11	15	18	19	25																																																																																					
<p>親睦旅行会(伊東温泉・武田薬品)</p> <p>グレートホール大会に優勝メダルを贈呈</p> <p>吉島、荒井会員ホール・ハリス・フェローに「人間とはどういうものか」のテーマで作家の藤原審爾氏の卓話</p> <p>観桜会、夜間例会(能仁寺)</p> <p>IGF開催(秩父RC・秩父市民会館)</p> <p>なだいなだ氏の「文明と心」の講演会も開催</p> <p>ロータリー創立75周年記念統一例会(岩清水)</p> <p>米山委員会が米山奨学委員会に名称変更する</p> <p>バズセッション開催</p> <p>「地域社会のニーズをつかむには」のテーマで、当クラブ内初のクリスマス会、優良従業員表彰(丸広)</p> <p>ポール・ハリス・フェローの表彰を受く</p> <p>257地区年次大会参加、当大会に於て佐野卿、川崎会員がポのの奥行をみることを話す</p> <p>の灯、人工の灯、心の灯とし、灯とは視度であり視度とは、もガバナリー公式訪問、綿貫文夫ガバナリー「奉仕の灯」灯とは自然名栗村に贈呈</p> <p>創立15周年記念事業の一環として、寄附金を飯能市、日高町創立15周年記念式典・親月会(丸広)</p> <p>アジア地域大会参加(韓国ソウル)12名参加</p> <p>越前竹人形の公演と水上勉氏講演会にJCに協力(中央公民館)</p> <p>青少年夏休み制作展開催</p> <p>市民憲章推進協議会設立準備会に会長出席</p> <p>「文学と飯能の風土」と題して飯能在住作家打木村治氏の卓話</p> <p>第16期クラブ協議会、65名にてスタート</p>													<p>親睦旅行会(水の上温泉、日本専売公社高崎工場見学)</p> <p>飯能高校、南高、聖望学園に奨学金贈呈</p> <p>15周年記念準備委員会発足</p> <p>飯能市、日高町のホームヘルパーを表彰する</p> <p>「雑誌週間にちなんで」と題して相原バスターガバナリー卓話</p> <p>谷、島田会員出席</p> <p>姉妹クラブの韓国東清州RCの10周年式典に会長、幹事、関IGF開催(新所沢RC)出席</p> <p>IGFがIGFに名称変更</p> <p>交換学生ビッキー元気に帰国</p> <p>大沢昭会員逝去</p> <p>プと共同で市に寄贈</p> <p>15周年記念事業の一環として、市民憲章碑をライオンズクラブクリスマス会及び優良従業員表彰(丸広)</p> <p>ガバナリー公式訪問、平野寿ガバナリー「アイアム・サード」を強調</p> <p>第257地区年次大会参加</p> <p>飯能RC創立15周年記念準備委員会発足</p> <p>親月会(丸広)</p> <p>青少年夏休みの制作展開催(丸広)</p> <p>当クラブ初めての夜間例会開催(東雲亭)</p> <p>飯能河原の清掃を行なう</p> <p>第15期クラブ協議会、58名にてスタート</p>													<p>クラブ協議会</p> <p>親睦旅行会(伊東大和館)</p> <p>ロータリー世界大会開催(東京・武道館)</p> <p>日本経済の動向と題して斎藤栄三郎氏卓話</p> <p>東京見学会</p> <p>比留間清治郎会員逝去</p> <p>当クラブホストによるICGF開催(中央公民館)</p> <p>クリスマス会及び優良従業員表彰(丸広)</p> <p>中里進会員逝去</p> <p>オーストラリアからビッキーヒッタードを受入れ</p> <p>藤(茂)・平沼・川崎・竹田会員宅</p> <p>交換学生受入家庭第1回研修会、受入家庭は清水(勇)・新堀・斉を結ぶ、友人を作る場である」ことを強調</p> <p>ガバナリー公式訪問、相原ガバナリー「ロータリーは人と人との心堤園子さん交換学生として紹介、3・29オーストラリアへ</p> <p>北海道有珠山噴火による災害に対する義援金を送る</p> <p>親月会(雨だれ荘)</p> <p>第14期クラブ協議会、67名にてスタート</p>													<p>クラブ協議会</p> <p>親睦旅行会(ホテル・ニュー塩原)</p> <p>本クラブ内職業紹介バザール開催(中央公民館)</p> <p>地区大会参加 19</p> <p>ICGF(所沢RC)出席</p> <p>「北極12000キロの旅」植村直己氏卓話</p> <p>後藤会員逝去</p> <p>クリスマス会及び優良従業員表彰(丸広)</p> <p>奉仕(サービス)であることを強調</p> <p>ガバナリー公式訪問、山口アキティンガバナリー「ロータリーは異郷放談と題して比留間会員ユニークに卓話</p> <p>月見の会(雨だれ荘)</p> <p>卓話</p> <p>防災の日にならんで、荒井・江沢会員による関東大震災体験談</p> <p>第1回職業連絡協議会建設関係(浦和日刊工業会館)</p> <p>第13期クラブ協議会、70名にてスタート</p>													<p>クラブ協議会</p> <p>親睦旅行会(京都)</p> <p>横田基地見学会</p> <p>ICGF(入間RC)出席</p> <p>平沼保夫会員ホール・ハリス・フェローに</p> <p>中里進会員ホール・ハリス・フェローに</p> <p>入間RCをスポンサークラブとしてから600回目の例会</p> <p>夫人共78名参加</p> <p>観劇会(上野鈴木演芸場)、夕食会(上野ホテル市松)</p> <p>忘年親睦会・クリスマス会(丸広)及び優良従業員表彰</p> <p>中里進会員の起案で油絵同好会発足</p> <p>金子会員逝去</p> <p>前島、加藤(衛)会員ホール・ハリス・フェロー</p> <p>親月会(丸広)ブローマン傘を各駅に贈呈</p> <p>の方針を指摘</p> <p>ガバナリー公式訪問、山口大ガバナリー「理論じゃないよ行動だよ」</p> <p>第12期クラブ協議会開催60名にてスタート</p>													<p>7</p> <p>15</p> <p>9</p> <p>30</p> <p>10</p> <p>31</p> <p>12</p> <p>10</p> <p>1</p> <p>8</p> <p>2</p> <p>18</p> <p>6</p> <p>25</p> <p>7</p> <p>17</p> <p>7</p> <p>27</p> <p>9</p> <p>6</p> <p>9</p> <p>9</p> <p>11</p> <p>2</p> <p>11</p> <p>2</p> <p>12</p> <p>18</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>5</p> <p>27</p> <p>7</p> <p>14</p> <p>9</p> <p>3</p> <p>12</p> <p>25</p> <p>5</p> <p>20</p> <p>6</p> <p>12</p> <p>7</p> <p>24</p> <p>10</p> <p>31</p> <p>12</p> <p>7</p> <p>1</p> <p>6</p> <p>2</p> <p>11</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>6</p> <p>5</p> <p>7</p> <p>16</p> <p>8</p> <p>2</p> <p>9</p> <p>4</p> <p>10</p> <p>18</p> <p>10</p> <p>26</p> <p>11</p> <p>4</p> <p>12</p> <p>27</p> <p>6</p> <p>12</p> <p>6</p> <p>22</p>													<p>衆・参議院総選挙</p> <p>大平首相逝去</p> <p>朝永振一郎、水谷八重子、成田知巳逝去</p> <p>語となる</p> <p>口裂け女、カラ、ヤミ、ウサギ小屋流行</p> <p>インペーターゲーム大流行</p> <p>イランで米大使館占拠</p> <p>朴韓国大統領射殺される</p> <p>KDD摘発</p> <p>上野動物園でパンダのランラン死ぬ</p> <p>千葉県君津市の神野寺の観光トラ脱走</p> <p>新自由クラブ分裂</p>													<p>新自由クラブ結成</p> <p>衆議院予算委員会ロッキード証人喚問</p> <p>3億円事件時効成立</p> <p>遺徳だが戦争中で止むを得ぬと思う」を</p> <p>天皇・皇后内外記者団と会見「原爆投下</p> <p>天皇・皇后訪米</p> <p>米・ソ宇宙船ドッキング成功</p>													<p>吉島力良</p> <p>比留間清治郎・小室敏一</p> <p>山口大</p>													<p>井上太平</p> <p>細田徳二郎・清水栄次</p> <p>高橋理平・山口大(アクティンガバナリー)</p>													<p>小室敏一</p> <p>吉田富雄・林幸一</p> <p>相原茂吉</p>													<p>細田徳二郎</p> <p>曾根丈治良・竹田久治</p> <p>平野寿</p>													<p>吉田富雄</p> <p>溝口卓男・森和夫</p> <p>綿貫文夫</p>													<p>人間に威信を</p> <p>インバサイ・デ・メロ</p> <p>ロータリーを私は信奉する</p> <p>ロバート・A・マンチェスターJr</p> <p>全人類を結びつけるために奉仕せよ</p> <p>J・デビス</p> <p>手をさし伸べよう</p> <p>クレム・レヌーフ</p> <p>奉仕の灯で道を照らそう</p> <p>ジェームス・L・ボーマーJr</p>												

目 次

年 表	綴じこみ
発行によせて	会長 吉田 富雄 7
飯能ロータリークラブ創立15周年記念行事	9
11年以降の記録	17
物故会員の冥福を祈って	47
新入会員及び家族紹介	55
編集後記	70

バナーによせて

平 岡 文 夫

飯能地方を象徴するものとして山と、材木、繊維を取り上げて図案化したものが現在のバナーです。繊維はふち飾りのギュパーレースで現わしました。

地色は、明るい、平和な飯能と名栗川、高麗川の水を表現して、ブルーに決めました。

発刊に寄せて

会長 吉田 富雄

昭和39年7月22日創立以来、ここに当クラブも満15年の星霜をつみ、多くの先輩、会員各位のご指導とご協力により発展的経過をたどってまいりました。

本年度は数々の記念行事が実施されましたが、その一端として年誌の発刊をみるに至りましたが、当クラブとしては既に10年史が発刊され10年間の歩みが立派に紹介されており、また、昨年会員家族の写真集も刊行されておりますので、この編纂に当ってはモチーフを求めてご苦勞があったものとお察しいたします。しかし、各委員のご努力で素晴らしい15年誌の誕生をみ、心から感謝いたしております。

過去は将来への布石でもあります。会員皆さんの益々のご健勝を念じつつ20年に向っての弥栄を祈ってやみません。





発刊まで

15周年準備委員長

溝口卓男

15周年準備委員会は53年度初めに発足し、数回会合を重ねて計画を練りました。記念式典、記念事業も滞りなく済み、ここに最後の締めくくりである年史が発行される運びとなりご同慶の至りです。

記念事業につきましては、次のような分担に従い小委員会と現執行部との連絡を密にして実施にあたりました。

(1)15周年準備委員 溝口卓男、細田徳二郎、吉島力良、吉田富雄、曾根丈治良、江原寿、竹田久治、清水栄次、林幸一、森和夫。

(2)分担表

小委員会	内 容	責任者	連絡委員会等
総務	予算統制	吉島	役員会
	行事のアドバイス	溝口	
渉外	招待・贈呈・表彰	林	社会奉仕(関谷)
			広報(石井)
会場	観月会共催、演芸他	江原	プログラム(新堀)
			親睦(五十嵐)
			S A A(大久保)
表彰	出席優秀会員、職員他	清水(栄)	出席(小林)
記念碑・記念品	ロータリー関係招待者及び会員	曾根	親睦(五十嵐)
会誌	15年誌	森	会報(加藤栄)
			文化(島田)

ここにあらためて担当者並びに会員の皆様のご協力に深く感謝する次第です。

飯能ロータリークラブ
創立15周年記念行事



挨拶する吉田会長

飯能ロータリークラブ15周年記念式典 挨拶

会長 吉田 富雄

本日創立満15周年の記念祝賀会を開会いたしましたところ、ご来賓の皆様にはご多忙中のところわざわざご参会を賜り、錦上添花をそえていただきましたことに対しまして、誠にありがたく、厚くお礼を申し上げます。また、会員の皆さんにも、殆んど100%に近いご出席をいただき、お互いにクラブの慶事を祝福し合えることの出来たことを感謝申し上げますと共にお礼を申し上げる次第でございます。

顧みますれば昭和39年7月22日入間クラブを親クラブといたしまして平岡初代会長他36名をもって当クラブが発足いたしましたから、もう満15年が経過いたしました。

その間、歴代会長、幹事さんを始め役員さんのご努力と会員皆さんの尽きることのない深い友情に支えられ、当クラブは年を経る毎に発展し、それぞれの職業を通じてのロータリー活動の蓄積により、ロータリークラブとしての社会的認識を高めて来た訳でございます。

私はチャーターメンバーの一人として、本日まで特別ロータリアンとして過剰意識もないまま15年を送りました。格別、誇らしげに語る程のこともありません、…がなんとなくロータリークラブが私の体の一部分であるような感じがいたします。

私はこの祝賀会に当り、ここに過去を振り返ってあらためてロータリークラブに感謝を申し上げ、そして、将来を見つめるに当っては、このロータリークラブが末永く存続していくことの出来る様な社会機構の確立を願ってやみません。

本日の記念行事につきましては、私は会長の年次計画で申し上げました通り極めて内輪の行事にしたい意向でございました。

計らずも内輪の中にもキメ細かい配慮と充実した企画がもりこまれ誠に感激しております。15周年特別委員会の皆さん始め親睦委員会関係委員の皆さんに心よりお礼を申し上げ、ご挨拶といたします。

飯能ロータリークラブ15周年記念式典式次第

昭和54年10月3日 於：丸広百貨店 PM.5:00より

司会 S.A.A 大久保一郎

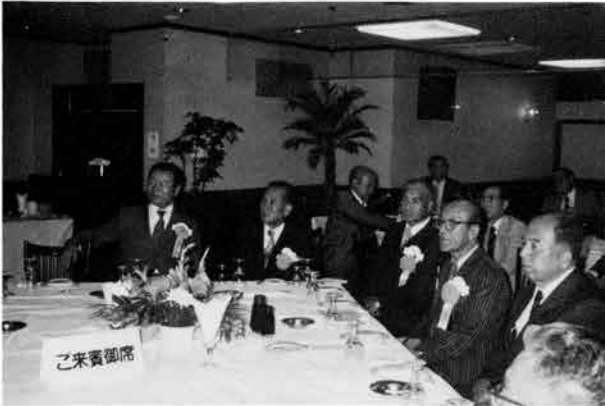
1. 開会の辞……………会長 吉田 富雄
1. 点 鐘……………同 同
1. 斉 唱
- 「君 が 代」 「奉仕の理想」
1. 来賓紹介……………会長 吉田 富雄
1. 会長挨拶……………同 同
1. 幹事報告……………幹事 森 和夫
1. 物故会員黙禱……………会長 吉田 富雄
- 小峰正夫君・斉藤承吉君・大久保三男君・山長又男君・谷島豊一君
柴田直君・佐野万次郎君・土肥無二三君・小川泰君・小林貞治君
石井尊四郎君・横川竹造君・金子重雄君・後藤平吉君・中里進君・
比留間清治郎君・大沢昭君
1. 来賓祝辞……………飯能市長 市川 宗貞殿
……………第八分区代理 町田 恒蔵殿
1. 創立会員代表挨拶……………パスト会長 新井 清平君
……………同 荒井 栄君
1. 記念事業目録贈呈……………会長 吉田 富雄
1. 出席表彰……………同 同
- (イ)創立以来無欠席会員
平岡文夫君・吉島力良君・吉田富雄君
- (ロ)10年間無欠席会員
新井清平君・荒井栄君・細田徳二郎君・加藤義市君・小室敏一君
町田義晴君・溝口卓男君・曾根丈治良君・竹田久治君
- (ハ)5年間無欠席会員
井上太平君・福田禾積君・平沼保夫君・林幸一君・五十嵐喜八郎君
市川清二君・神田邦武君・川崎一郎君・三角昭二君・新堀隆治君
大久保一郎君・大野勝男君・清水栄次君・関谷昭君
1. 職員表彰……………吉田 富雄
佐藤喜久江殿・中島祐八殿
1. 出席報告……………出席委員長 小林 忠雄
1. S A A 報告……………S A A 大久保 一郎
1. 点 鐘……………会長 吉田 富雄



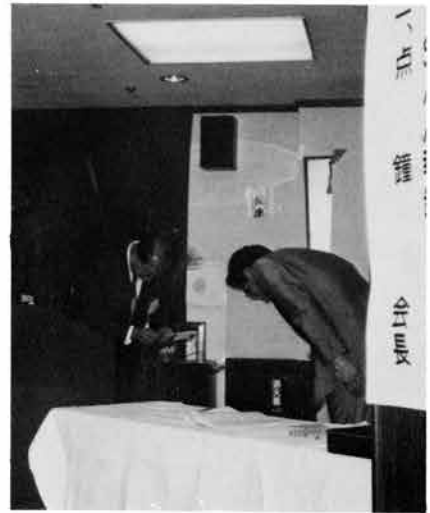
式次第の掲示板



町田分区代理の祝辞



来賓のかたがた



記念事業目録贈呈



出席表彰(創業以来無欠席で会長も表彰される)

●記念事業

1. 飯能市、日高町、名栗村に対し金一封贈呈
1. 飯能市に対し市民憲章碑寄贈（前年度中に寄贈済）



●来賓ご芳名

第257地区第8分区代理	町田恒蔵殿
飯能市長	市川宗貞殿
日高町町長	駒野昇殿
名栗川村長	町田真之亮殿
所沢RC会長	大館興殿
新所沢RC会長	粕谷安雄殿
狭山RC会長	志村義一殿
入間RC会長	斉藤福太郎殿
越生毛呂RC会長	高橋覚殿



●記念パーティ（観月会）

開宴 P.M.6:00

司会 親睦委員 竹田久治

1. 挨拶.....15周年記念式典実行委員長 溝口卓男
1. 乾杯.....パスト会長 梨木三六
1. アトラクション

謡曲 一雨月の小謡一

溝口卓男君・荒井栄君・小室敏一君・神田邦武君・吉島力良君

小唄ぶり

舞方 清紅会 猿若清紅師匠他3名

地方 福三枝会 田村福三枝師匠他3名

(1) 三番叟

(2) 秋四景

晩忍 浅間小浅間

辰己左褌 露は尾尼

手品 井上太平君

* 記念パーティ(観月会)スナップ



観月会の飾りつけ



謡曲



井上バスト会長の手品



小唄ぶり



小唄ぶり



手に手つないで

飯能ロータリークラブ
11年以降の記録

一年をふりかえって

第十一代会長 荒井 栄



中里会長の後を受けて慌しい一年が過ぎ、無事に次期会長にバトンタッチの出来る時が参りまして、重い肩の荷がおりました。任期中会員各位、殊更幹事を始め理事の各位に並々ならぬご支援ご協力をたまわったことに対しまして、厚く御礼申しあげるものであります。

この一年を顧みますと、就任当時前会長よりのモットーとしての“楽しい例会”を先ず幹事さんと共に心がけて参りました。以来クラブとしての体制が各位のご理解によって着々前進することの出来ましたことに、一しおの喜びを感じているものであります。

クラブの行事としての大きな仕事の一つ「十周年記念行事」も前々年度からの準備委員会の基盤に立って、会員各位の総意のもとにどうやら無事に行うことが出来ました。また、市内のライオンズ・青年会議所の団体との緊密なる連絡をもった事業が出来ましたこと等、この一年間が全く夢のように過ぎて、私の一生の思い出となる会長としての任期が終わりました。私にとって心からの喜びでございますが、会員皆様のご協力に対しまして心からお礼を申しあげると共に、飯能ロータリークラブの益々の発展を祈って退任の挨拶と致します。



ロータリー創立10周年記念式典



ロータリー創立10周年記念式典

1974. 7~1975. 6

卓 話

- 49. 8. 7 関口会員「長生きする方法」
齊藤(季)会員「運について」
- 8. 14 堀口 郁夫氏「趣味と陶芸」
- 8. 21 荒井会員「時間」
- 9. 11 埼玉銀行 山村隆男氏 「景気の動向
について」
- 9. 18 井上会員「快談」
- 10. 2 竜泉寺住職 有島忠直氏「生きる喜び」
- 10. 23 郷土史研究家 山岸雄司氏「日本刀の
鑑どころ」
- 11. 6 埼玉新聞 三浦俊雄氏 映画 「武蔵
野・花と緑と太陽と」
- 11. 13 飯能市助役 青木實氏「人の動かし方」
- 11. 20 カウンセラー 野原蓉子氏「従業員の
定着相談と男女問題にはこう対処せ
よ」
- 11. 27 繁田バストガバナー「職業奉仕につい
て」
- 12. 4 川越RC交換学生 ミス. ジェニー. ゲ
レット「交換学生のみた日本の印象」
- 12. 11 綿貫文夫氏「ロータリー財団について」
- 50. 1. 8 青木飯能市助役「年頭の挨拶」
大沢日高町長「年頭の挨拶」
町田名栗村長「年頭の挨拶」
- 1. 29 比留間会員「雑誌週間に因んで」
- 2. 5 宮本会員「私の赤穂浪士孝」
- 2. 12 埼玉医大教授 木下治雄氏「ヤドカリの
話」
- 2. 19 半田バストガバナー 「ロータリー創
立記念日に因んで」
- 2. 26 若い根っこの会会長 加藤日出男氏
「あるエピソード」
- 3. 12 つばみの会主事 半田喜誉司氏 「心
身障害児のあつまりと“つばみの会”
の実態」
- 3. 19 柏会員「飯能を語る」
山崎会員「藤 その愉しさ」
- 3. 26 萩野会員「能仁寺と庭園」
- 4. 2 交換学生 佐藤仁志氏「一年間の留学
生活をふりかえって」
- 4. 9 大久保会員「中国天津毬交易会に出席

- して」
- 4. 23 埼玉医大教授 木下治雄氏「魚の群れ」
 - 4. 30 飯能市教育委員 加藤一氏 「渡場遺跡について」
 - 5. 14 漢学者 井樽要讀氏「漢詩を語る」
 - 5. 21 飯能警察署長 山口忠雄氏 「市民と警察」
 - 5. 28 黒田会員「春闘の歴史」
関谷会員「私の趣味」
 - 6. 4 三角会員「建築申請あれこれ」



役員構成及委員長(1974.7~1975.6)

役員構成

会 長(理事)	荒 井 栄
副 会 長(理事)	井 上 太 平
幹 事	細 田 徳 二 郎
副 幹 事	小 室 敏 一
会 計	高 水 淳 太 郎
S A A	林 幸 一
副S A A	竹 田 久 治
理 事	中 里 進
〃	平 沼 保 夫
〃	江 原 寿 次
〃	清 水 栄 次
〃	市 川 清 二



昭和49年11月13日(水)姉妹クラブの
韓国東清州ロータリークラブより
ビジター金先生来飯

委員長

国際奉仕委員会	江 原 寿
ロータリー財団委員	梨 木 三 六
社会奉仕委員会	平 沼 保 夫
青少年委員会	J・ウイズィ
職業奉仕委員会	清 水 栄 次
会務奉仕委員会	井 上 太 平
出席委員	町 田 義 晴 夫
職業分類委員	森 和 夫
会報委員	金 子 重 雄
ロータリー情報委員	中 里 進
親睦活動委員	比 留 間 清 治 郎
雑誌委員	清 水 勇 三
会員選考委員	神 田 邦 武
会員増強委員	加 藤 善 兵 衛
プログラム委員	市 川 清 二
広報委員	大 野 光 三

入退会者(1974.7~1975.6)

入会者(6名)

49. 7	黒 田 平 八
49.12	柏 幸 孝
50. 1	山 崎 文 治
50. 2	関 谷 昭
50. 3	三 角 昭 二
50. 6	石 井 照 雄

退会者(8名)

49.10	井 上 敬 三 郎
〃	松 岡 誠
〃	関 口 和 夫
49.11	前 久 保 幸 雄
49.12	石 井 尊 四 郎
〃	沢 辺 浩
50. 2	高 橋 啓 夫
50. 3	大 野 光 三

会長職を終えて

第十二代会長 吉島力良



正直に申しまして、十周年記念式典を契機に盛上ったクラブを引継いだ責任感と、口からあとに産まれた会長のため、常にストレスの連続であった一年がやっと経過しこれで無事退任かと思うと、文字通り感慨無量で、ふとトルーマン米国大統領の辞任時における挨拶を想起します。

「大統領になるまで、米国で一番偉いのは大統領だと思っていたが、現実には全く反対で、国民の望む通り、国民の命ずる通り行動する毎日であった。米国を支配しているのは国民であって、大統領は公僕に過ぎないことを、身にしみて痛感した。」と、全国に放送したそうですが、私も全く同感です。

“会員の喜ぶよう、会員の望むよう” 懸命にクラブの運営に努力した一年。この一年は、私の心に大きな成長をもたらしてくれました。長い長い一年でしたが、永久に忘れることはないでしょう。

特に印象深いのは、年度末に武久会員が高令のため退会された以外、死亡と転勤による退会を除いて、何となくロータリーをやめる会員が一人も出なかったことです。これだけは、私の会長年度における大きな収穫ではなかったかと心嬉しく思っております。

最後に、微力な会長を優しく支えてくれた小室幹事さん、SAAの竹田さん、事務局の佐藤さん他各役員及び全会員のご協力、並びに折にふれ適切なアドバイスをお寄せ頂いたパストガバナーの繁田さん、分区代理の水村さん他諸先輩のご指導に心から感謝申し上げますと共に、飯能RCの益々の発展と、会員並びに諸先輩の愈々ご健勝をお祈りして退任のことばと致します。本当にありがとうございました。



日高町に交通安全標識寄贈 (S50.12)

1975. 7~1976. 6

卓 話

- 50. 7. 23 市川章弘氏「ヒマラヤ登頂」
- 7. 30 イトーヨーカ堂取締役 清水秀雄氏
「アメリカの小売業の現況について」
- 8. 6 野村証券総合研究所 奥村洋彦氏
「これからの経済の見透し」
- 8. 13 刀匠武州吾野の住人 小沢正寿氏
「日本刀の出来るまで」
- 8. 27 山口ガバナー「現論ぢゃないよ、行動だよ」
- 9. 17 広沢バストガバナー「世界理解週間によせて」
- 10. 1 荒川RC 吉村武夫氏「綿の昔ばなし」
- 10. 8 石井会員「私の生いたち」
- 10. 22 竹寺住職 大野亮雄師「神仏混淆の話」
- 10. 29 大野(康)会員「木材の育成と製材の関連」
- 11. 5 吉島会員「職業奉仕に因んで」
- 11. 12 浦和市田島小教諭 小林申幸氏
「財団留学雑感」
- 11. 19 日本発明学会会長 豊沢豊雄氏
「物の見方考え方」



横田基地見学 (S51.4.21)

- 11・26 聖望学園教諭ダニエル・ローア氏
- 12. 3 加藤（栄）会員「建築雑感」
- 12. 10 埼玉県花植木センター次長 中村恒雄氏「今の庭・これからの庭の考え方」
- 12. 17 繁田パストガバナー「職業奉仕あれこれ」

- 5 1. 1. 7. 市川飯能市長「年頭の挨拶」
大沢日高町長「年頭の挨拶」
- 1. 14 比留間会員「雑誌週間によせて」
- 1・28 交換留学生 ブルース・レイヤー君
「私の故郷」
- 2. 4 飯能保健所長 山北満寿子氏「飯能岩
沢地区の井戸水の六価クロム汚染につ
いて」
- 2. 18 広沢パストガバナー「ロータリー創立
週間に因んで」
- 2. 25 師岡定雄氏「地質学的に見た郷土」
- 3. 10 細田（吉）会員「若さで勝負」
高出会員「合理化と人生」
- 3. 17 山口敏夫代議士「政界往来」
- 3. 24 東電飯能営業所長 谷ッ田宗司氏「原
子力発電の話」
- 3. 31 高尾山主任 山本秀順師「高尾山の自
然保護」
- 4. 7 岡野会員「西川材の歴史」
- 4. 28 花家会員「私と医学」
武藤会員「幼児教育雑感」
- 5. 19 日本作詩作曲協会理事 野口家嗣氏
「歌に学ぶもの」
- 5. 26 裏千家 落合宗擁氏「茶道の歴史」
- 6. 2 安部学院高等学校長 安部元章氏「家
庭生活と手品」
- 6. 16 藤増総合科学研究所所長 藤増次郎氏
「よみがえる地球」
- 6. 23 吉田（勇）会員「木材の需給と木造住
宅」
- 6. 30 仁賀保会員「ただ今団地自治会長」





役員構成及委員長(1975.7~1976.6)

役員構成

会 長(理事)	吉 島 力 良
副 会 長(理事)	比 留 間 清 治 郎
幹 事	小 室 敏 一
副 幹 事	清 水 栄 次
会 計	高 水 淳 太 郎
S A A	竹 田 久 治
副S A A	大 沢 昭 夫
理 事	双 木 久 夫
"	森 和 夫
"	福 田 禾 積
"	江 沢 幸 三
"	荒 井 栄

委員長

国 際 奉 仕 委 員 会	双 木 久 夫
ロ ー タ リ ー 財 団 委 員 会	品 川 誠 三
社 会 奉 仕 委 員 会	森 和 夫
青 少 年 委 員 会	大 沢 正 敏
職 業 奉 仕 委 員 会	福 田 禾 積
会 務 奉 仕 委 員 会	比 留 間 清 治 郎
出 席 委 員	加 藤 音 治
職 業 分 類 委 員 会	井 上 峰 次
会 報 委 員	大 野 勝 男
ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会	荒 井 栄
親 睦 活 動 委 員 会	大 久 保 一 郎
雜 誌 委 員 会	斉 藤 文 雄
会 員 選 考 委 員 会	後 藤 平 吉
会 員 増 強 委 員 会	吉 田 富 雄
プ ロ グ ラ ム 委 員 会	溝 口 卓 男
広 報 委 員 会	江 沢 幸 三

入退会者(1975.7~1976.6)

入会者(15名)

50.9	細 田 吉 春
"	加 藤 栄 夫
"	大 野 康 夫
50.11	友 松 敏 夫
51.1	高 出 春 美
"	岡 野 三 平
51.2	花 家 孝 之
"	武 藤 英 雄
51.4	仁 賀 保 成
"	谷 川 種 雄
"	吉 田 勇 雄
"	小 林 忠 雄
"	福 田 博
51.6	古 江 右 一
"	島 田 哲

退会者(5名)

50.7	金 子 重 雄
51.2	友 松 敏 夫
51.4	柏 幸 孝
"	黒 田 平 八
51.6	武 久 宗 吉

一年を顧みて

第十三代会長 井上 太平



十有余年の伝統と誇りをもつわが飯能RC会長の職を汚して早や一年が経過しました。

本年度のクラブの目標である

1. ユーモアを解せるロータリー
2. 話し合えるロータリー
3. 地域社会に密着したロータリー

について反省してみますと、先ず1については、プログラム委員会のご尽力により多彩なゲストスピーカーの招聘と、SAAの時宜に適した食事とユーモアにより楽しい例会となりました。加えて私は卓話の内容を30秒程にまとめて講師へのお礼と、微笑みをもって閉会となるよう努力してまいりました。第2点は、「職業紹介バザール」を実施し、家族ぐるみでお互の職業を知り理解し合える場を持ちました。幸い職奉委員長の綿密な計画と準備のもとに各委員が協力し、全会員の参加によって80%位の成功をおさめることが出来ました。第3点は、地域新聞社等との意見交換・記事提供などによって、一般の方々にロータリーのありかたを理解して頂き、また、社会奉仕部門では目の不自由な方に点字本を贈呈するなど新しい企画も盛られました。

この一年間、若輩の私が先輩諸氏に対し無礼なことや手落ちが多々あったことと存じますが、職務に免じてお許し願います。私にとりましてこの一年間は、皆様のお陰で、ロータリーを知り社会を知る上で充実した年であり、忘れ得ぬ年でありました。各行事に寄せられた皆様方の積極的なご協力と友情に対し心から感謝申しあげ、特に清水幹事始め、役員の方々のご苦勞に対し厚く御礼申しあげます。

ここに飯能ロータリークラブの益々のご発展と会員皆様のご健勝を祈念し、退任の挨拶と致します。

1976. 7～1977. 6

卓 話

51. 7. 28 比留間会員「健康に関する話」
 8. 4 小林会員「北海道の寒さ」
 福田博会員「私の生いたち」
 8. 11 小宮山重四郎代議士「ロッキード事件と政局の動向」
 8. 18 大沢（昭）会員「転失気の話」
 古江会員「相撲の話」
 8. 25 新井清寿氏「飯能の伝説」
 9. 1 荒井会員「関東大震災の教訓」
 江沢会員「関東大震災の体験」
 9. 22 都立大付属高校教諭 堤可正氏「河童の伝説」
 9. 29 慶応義塾大教授 熊谷RC 塩原和男氏「世界理解週間に因んで」
 10. 6 平岡会員「飯能ロータリーのむかしばなし」
 10. 13 飯能警察署防犯係長 逸見治年氏「青少年の非行化防止について」
 10. 20 川越女子校生 山川嘉津江さん「アメリカに留学して」
 11. 10 山口アクティングガバナー「公式訪問卓話」
 11. 17 銀座、渋谷クッキングスクール校長 清水桂一氏「男ざかりを持続させる法」
 11. 24 大東京火災海上(株)東京損害査定主任 片柳禎夫氏「賠償保険について」
 12・1 交換学生(入間RC) ミス・コラリー グランド「日本に留学して」
 12. 8 第一勧銀調査部次長 古田耕作氏「経済展望」
 12. 15 飯能警察署長野口氏「管内犯罪の現況」
 52. 1. 5 市川飯能市長「年頭の挨拶」
 大沢日高町長「年頭の挨拶」
 町田名栗村長「年頭の挨拶」
 1. 19 谷川会員「電報電話の話」
 島田会員「新しい溶接技術」
 1. 26 相互訪問チーム員 デリン・バーベルさん「私の町」
 2. 2 比留間会員「話すと云うこと」
 2. 9 森田豊氏「石の趣味について」



クリスマスパーティー、優良従業員表彰（S.15・12・22）



2. 16 植村直己氏「北極 12,000 軒の旅」
 3. 2 繁田バストガバナー「ロータリー創立記念日に因んで」
 3. 9 AFS 留学生 ジョヤール・キャッツ君「日本へ留学して」
 3. 16 山谷親平氏「マイクからみた日本人」
 4. 13 狭山市教育委員 千葉英子氏「最近の中国事情について」
 4. 27 地区委員長 黒田茂雄氏「米山週間に因んで」
 留学生 ツアン・ユージェル君「米山奨学金と日本に対する感謝と御礼」
 5. 4 大木（茂）会員「老眼鏡について」
 浅見会員「公定歩合の推移からみた景気の診断」
 5. 11 岩附一雄氏「血液型の話」
 5. 18 朝日新聞記者 平松謙一郎氏「成田空港の問題点」
 5. 25 国際教育開発株式会社 武士嘉信氏「ブリタニカ国際大百科事典の話」
 6. 1 近藤会員「ケチの効用」
 高木会員「青少年の死におもう」
 6. 15 生内玲子氏「旅の話」





役員構成及委員長(1976.7~1977.6)

役員構成

会 長(理事)	井 上 太 平
副 会 長(理事)	細 田 徳 二 郎
幹 事	清 水 栄 次
副 幹 事	大 沢 昭 昭
会 計	高 水 淳 太 郎
S A A	大 沢 昭 三
副SAA	品 川 誠
理 事	J・ウイズィ
"	溝 口 卓 男
"	清 水 勇 三
"	吉 島 力 良
"	市 川 清 二

委員長

国際奉仕委員会	J・ウイズィ
ロータリー財団委員会	武 居 藤 吉
社会奉仕委員会	溝 口 卓 男
青少年委員会	市 川 清 二
職業奉仕委員会	清 水 勇 三
会務奉仕委員会	細 田 徳 二 郎
出席委員会	大 野 勝 男
職業分類委員会	林 幸 一 夫
会報委員会	森 和 夫
ロータリー情報委員会	吉 島 力 良
親睦活動委員会	江 沢 幸 三
雑誌委員会	江 原 寿 六
会員選考委員会	梨 木 三 郎
会員増強委員会	大 久 保 一 郎
プログラム委員会	関 谷 昭 治
広報委員会	新 堀 隆 治

入退会者(1976.7~1977.6)

入会者(6名)

51.8	大 木 重 雄
51.10	浅 見 茂 男
"	近 藤 殊 一 郎
52.2	高 木 泰 文
52.4	佐 藤 英 典
52.5	山 崎 一 郎

退会者(7名)

51.7	宮 武 良 光
51.9	檜 崎 正 雄
51.10	岡 野 三 平
"	高 木 淳 太 郎
51.12	後 藤 平 吉
52.1	柳 内 貞 雄
52.6	井 上 峰 次

任期を終了して

第十四代会長 小室 敏一



昨年突如として会長に就任させて頂き、漸くここに大過なく大役を終了し得ましてお礼のご挨拶を申し上げる時になりました。

任期中、会員各位、殊に幹事・理事の皆様には非常なご後援ご協力を頂きましたことを、心からお礼申し上げます。また、いろいろとご無理なお願いもあったことをお詫び致します。

年度の初めに、「全員参加のロータリー」「語り合わんロータリー」「地域社会に密着したロータリー」の目標を掲げましたが、まず当クラブ創立以来初めての交換学生の事業が始まりました。全会員多大のご協力のもとに、曾根カウンセラー及び受入れ家庭として清水(勇)・竹田・斉藤(文)各会員・堤和夫様の親身も及ばぬお世話を頂き、誠にありがとうございます。なお、聖望学園の校長始め関係諸先生のご理解あるご協力に感謝を申し上げます。また、受入れ家庭として申し出で下さった新堀・平沼・川崎各会員に敬意を表します。

小・中学生の創作展・交通キャンペーン・雨傘寄贈・孤独な老人にNHKグラフ寄贈等は地域社会への密着したロータリーとしての具現と考える次第です。例会を楽しくする為の、名士あるいは会員の卓話はそれぞれ私達の心に永く残っております。また、家族ともどもの親睦会・画伯相原ガバナーを迎えての和やかな公式訪問、更にホストクラブとして全員一致協力を実現して頂いたI・C・G・F等、何れも今期の目標達成にご努力頂いたことで私の一生忘れ難い思い出となりました。

最後に微力な私に強力にご支援下さった林幹事・品川SAA・荒井分区代理に厚くお礼申し上げます。飯能ロータリークラブの益々の発展と、会員・ご家族皆様のご健勝を祈念して退任の言葉とさせていただきます。



ガバナー訪問 相原茂吉ガバナー

1977. 7~1978. 6

卓 話

- 52. 8. 3 分区代理 荒井会員「飯能RC
創立記念日に因んで」
- 8. 17 NHK浦和放送局長、浦和RC 有馬
靖氏「記者時代の思い出」
- 8. 24 大生相互銀行常務 荒木氏「最近の経
済状勢」
- 8. 31 ロータリアン相互訪問派遣団員 溝口
桂子さん「オーストラリアの思い出」
- 9. 14 寄居RC 酒井方力氏「方位の話」
- 9. 21 佐藤会員「仕事と趣味」
山崎会員「飯能市政より見た農業の概
要」
- 9. 28 森会員「鮎の話」
- 10. 4 国学院大学教授 伊木誠氏「日本経済
の動向」
- 10. 19 精明小学校長 安藤富治氏「創造を育
む科学的教育について」
- 10. 26 講道館7段 猪熊功氏「柔道の話」
- 11. 2 飯能警察署 梅沢交通係長殿
卓話「交通安全対策について」
映画「0.5秒のミス」
- 11. 16 相原茂吉ガバナー「ガバナー公式訪問
卓話」
- 11. 30 第285地区P・Gガバナー、東京東R
C 佐藤千寿氏「ロータリー財団と国
際理解について」
- 12. 14 飯栄会 吾妻栄豊氏並にお弟子さん3
名「民謡の午后」
- 53. 1. 4 市川飯能市長「年頭のご挨拶」
大沢日高町長「年頭のご挨拶」
- 1. 11 石井県議会議員「年頭のご挨拶」
- 2. 15 防衛庁事務官 広畑文司氏
「自衛隊の状況について」
映画「国の守り」
- 2. 22 歴代会長卓話
初代会長 平岡会員
第4代会長 新井会員
第9代会長 武居会員
第12代会長 吉島会員
第13代会長 井上会員
- 3. 8 大木(道)会員「私の信条」
田中会員「書道鑑賞入門」
- 3. 15 前埼玉県知事「英国衰亡論と日本」
- 3. 22 飯能消防署長 都築実三氏「飯能救急
活動の実態」
- 3. 29 陸上自衛隊一等陸佐 田辺悟氏
「カンボジア革命の真相」
- 4. 5 第一勧銀調査部 渡辺昇氏
「最近の経済状勢について」
- 4. 12 第一回埼玉青年の翼団員 井上順徳氏
「中国訪問帰国報告」
- 4. 19 熊谷高校 星山春雄氏「手品について」
- 5. 10 参議院議員 斉藤栄三郎氏「日本経済
の動向」
- 5. 24 石井会員 「健康について」
- 5. 31 飯能教育委員会委員 加藤一氏
「我が郷土と飯能戦争」
- 6. 7 交換婦生 ビッキー、ピツタード「日
本5ヶ月の印象」
- 6. 14 飯能警察署長 松村栄氏
「極左暴力集団について」

第八分区 I G F から(於. 飯能中央公民館)



第八分区 I G F、繁田バスターガバナー



荒井分区代理



役員講成及委員長(1977.7~1978.6)

役員構成

会 長(理事)	小 室 敏 一
副 会 長(理事)	吉 田 富 雄
幹 事	林 幸 一
副 幹 事	竹 田 久 治
会 計	近 藤 殊 一
S A A	品 川 誠 三
副S A A	三 角 昭 二
理 事	曾 根 丈 治
"	清 水 勇 三
"	加 藤 音 治
"	江 原 寿 平
"	井 上 太 平
"	細 田 德 二

委員長

国 際 奉 仕 委 員 会	曾 根 丈 治 良
ロータリー財団委員	梨 木 三 六
社 会 奉 仕 委 員 会	清 水 勇 三
青 少 年 委 員 会	新 堀 隆 治
職 業 奉 仕 委 員 会	加 藤 音 治
ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会	吉 田 富 雄
出 席 委 員	大 沢 昭 三
職 業 分 類 委 員 会	大 沢 久 夫
会 報 委 員	大 福 博 三
ロータリー情報委員	井 上 太 平
親 睦 活 動 委 員 会	関 谷 昭 三
厚 生 活 動 委 員 会	萩 野 映 明
文 化 活 動 委 員 会	溝 口 卓 男
雑 誌 委 員	五 十 喜 八 郎
会 員 選 考 委 員	武 居 藤 吉

会 員 増 強 委 員	川 崎 一 郎
プ ロ グ ラ ム 委 員	江 原 寿 三
広 報 委 員	江 沢 幸 三

入退会者(1977.7~1978.6)

入会者(3名)

52.10	田 中 一 夫
52.11	大 木 道 太 郎
53. 4	池 田 五 郎

退会者(14名)

52. 7	前 島 金 助
"	J. ウィズィー
"	古 江 右 一
52.10	比 留 間 清 治 郎
"	中 里 進
53. 1	双 木 久 夫
53. 2	高 出 春 美
"	江 沢 幸 三
53. 6	加 藤 善 兵 衛
"	加 藤 音 治
"	稲 垣 助 利
"	斉 藤 季 利
"	品 川 誠 三
"	武 居 藤 吉

任期を終了して

第十五代会 細田徳二郎



第十五代の会長就任時、曲り角に来ました伝統ある飯能R・Cに活気を甦えらせると共に、R・C本来の親睦を大切にしながら、地域社会に密着した奉仕活動を展開し、小さな奉仕の種蒔きをする事を約束致しました。

幸い任期中会員各位はもとより、竹田幹事、三角SAA役員と皆々様の絶大なるご支援、ご協力を戴き、初期の目的を達成出来得ました事を厚くお礼申し上げる次第です。

さて、この一年を顧りみますと12名の新会員の増強と一人一人の会員の自覚に依り活気がみなぎってまいりました。通常の例会は当然乍ら、充実したプログラムと共に初めての夜間例会、月見の会、クリスマスと出席率を高め家族の参加も稀に見る盛況でありました。

前期より引き受けました交換留学生はお互に無事終了させる事が出来、関係者に厚くお礼申し上げます。姉妹クラブの訪問と共に国際親睦とクラブの躍進に大いに役立ったものと思います。

社会奉仕も大きな活躍を見せ、ニコニコBOX全額を投入し、きめ細かな行事が出来、地域の方々に感謝されましたが、特に特殊な交通看板設置は事故の減少に貢献すると共にR・Cの存在価値を高める事に役立った事と考えます。今年1月の市民憲章碑の設立は永久に市役所の庭を飾ることでしょう。6月末の地区協議会には優秀クラブ表彰を受け、平野ガバナー、半田分区代理には、ガバナー訪問の成果を賛えられ、飯能R・Cここに有りと鼻を高くした次第です。本当に努力の甲斐があったと喜んでおります。

この一年の苦労は皆様のお陰で実りに結びつき、充実感は私にとり一生の思い出となる事でしょう。これも会員各位のご指導、ご鞭撻がありましたればこそと深く感謝申し上げ、各位の今後のご繁栄と飯能R・C益々の発展を祈念申し上げ退任のご挨拶と致します。

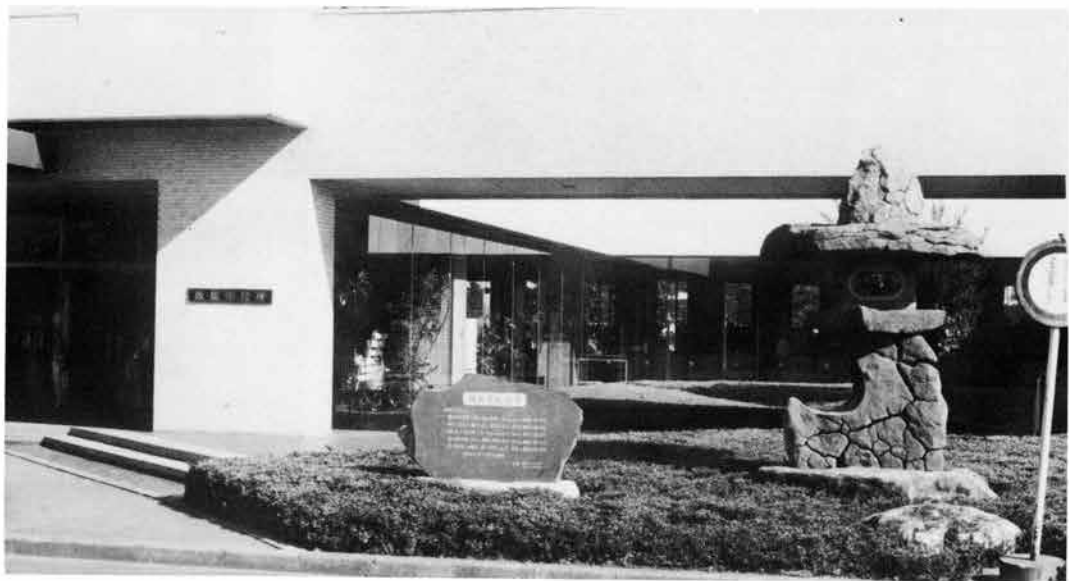
1978. 7～1979. 6

卓 話

53. 7. 26 繁田バストガバナー「飯能RCの創立
記念日に際して」
8. 2 池田会員「思いつくまま」
8. 9 曾根会員「中国雑感」
8. 16 高萩中学校長平井氏「同和問題について」
8. 23 梅園小学校教諭 松本邦良氏「知られ
ざるソ連」
8. 30 第18次南極越冬隊員 吉田仁士氏「南
極生活と実録映画」
9. 6 武蔵野女子大教授 花山勝友氏 「東
洋と西洋」
9. 13 東吾野小学校長 井上次子氏 「この
頃思うこと」
9. 20 教育委員会委員 加藤一氏 「馬場北
溟考」
10. 4 生活工学研究所長 土屋桃子氏 「香
りある郷土造りをめざして」
10. 11 豊岡保育園長 繁田輝氏「多様化する
地域社会における保育問題」
10. 18 入江たか子氏「映画四方山ばなし」
10. 25 小室会員「中年からの健康管理につ
いて」
11. 1 加藤(栄)会員「法律化された日影規制
について」
11. 15 分区代理 半田幸弘氏「ロータリー財
団について」
11. 22 青年会議所理事長 沢辺壽彦氏「J
Cの活動状況について」
11. 29 平野寿ガバナー「公式訪問卓話」
12. 6 狭山RC 志村義一氏「八甲田山雪中
行軍の教訓と経営」
54. 1. 10 市川飯能市長「年頭祝辞」
大沢日高町長「年頭祝辞」
1. 17 石井県議会議員「年頭祝辞」
1. 30 大浦会員「子供に好かれるお父さん」
関口会員「あれこれ」
2. 7 吉島会員「粉飾決算について」



飯能RC15周年記念行事の一環として
飯能市へ市民憲章碑を寄贈。



- 2. 16 川越南RC 篠原千牧氏 「顔と運勢について」
- 2. 28 高山不動住職 田中隆孝氏 高山不動と修験道
- 3. 7 中里会員「思うがままに」
細田(伴)会員「格言によせて」
- 3. 14 所沢RC 鈴木禧八氏
裁判こぼれ話
- 3. 28 スポーツ・キャスター佐々木信也氏「プロ野球うらばなし」
- 4. 4 交換学生 堤園子さん「オーストラリア帰国報告」
- 4. 11 相原パストガバナー「雑誌週間に因んで」
- 4. 18 小暮飯能警察署長「交通事故及び薬害について」
- 4. 25 葉袋会員「視力補正用レンズについて」
沖田会員「最新のトピック、ニュース」
- 5. 2 8%映写 高橋英一氏の作品
「高崎のだるま市、越生の梅林」
- 5. 9 城西大学教授 久恒和仁博士 「日本人に特に多い腸炎ビブリオの話」
- 5. 16 ホームヘルパー 島田きくさん 最近の事例から」
- 5. 23 原田病院 原田雅義博士
「コンピューター(脳)X線断層撮影装置」
- 5. 30 映画上映「世界を一つに結ぶために」
- 6. 6 吉田(武)会員「小児診療の30年」
中島会員「白と黒」
- 6. 20 跡見学園女子大学講師 檜村治子氏
「以心伝心」



交通標識を寄贈



専売公社高崎工場見学 (S54.6.13)

またまた食欲旺盛⇒



クリスマスパーティから



交換学生
ビッキーさん(右)

《参加するロータリー特集》

カラオケブームに乗って



—細田会長の美声—



—余裕たっぷり— 清水(勇)君



—東海林太郎ばり— 吉田君



—歌もいいけど笛も聞いて下さい— 市川君



—くるしがらせて(うれしがらせて)—
細田君



—ソフトムード— 関谷君



—三浦洗—ぞっくり— 大野(勝)君



—若いものには負けれない— 小室君

役員構成及委員長(1978.7~1979.6)

役員構成

会 長(理事)	細 田 德 二 郎
副 会 長(理事)	曾 根 丈 治 良
幹 事	竹 田 久 治
副 幹 事	森 和 夫
会 計	近 藤 殊 一 郎
S A A	三 角 昭 二 郎
副SAA	大 久 保 一 郎
理 事	大 沢 昭 雄
"	齊 藤 文 雄
"	吉 田 勇 三
"	清 水 勇 三
"	大 野 勝 男
"	小 室 敏 一
"	吉 田 富 雄

委員長

国際奉仕委員会	大 沢 昭 雄
ロータリー財団委員会	五十嵐 喜 八 郎
社会奉仕委員会	齊 藤 文 雄
青少年委員会	大 野 康 夫
職業奉仕委員会	吉 田 勇 三
クラブ奉仕委員会	曾 根 丈 治 良
出席委員会	福 田 博 之
職業分類委員会	花 家 孝 之
会報委員会	島 田 哲 一
ロータリー情報委員会	小 室 敏 一
親睦活動委員会	大 野 勝 男
厚生活動委員会	小 林 忠 雄
文化活動委員会	加 藤 栄 積
雑誌委員会	福 田 禾 積
会員選考委員会	町 田 義 晴
会員増強委員会	市 川 清 二
プログラム委員会	清 水 勇 三
広報委員会	大 沢 正 敏



—いいポーズ— 福田君

入退会者(1978.7~1979.6)

入会者(12名)

53.7	細 田 伴 次 郎
"	大 浦 邦 雄
"	関 口 久 夫
"	中 里 弘
53.8	薬 袋 明 義
53.9	吉 田 武 義
53.11	沖 田 昭 三
54.1	中 島 幸 男
54.2	横 手 惣 司
54.4	大 貫 昭 夫
54.5	横 田 岩 雄
54.6	遠 藤 龟 鹤

退会者(5名)

53.10	近 藤 殊 一 郎
54.1	大 沢 昭 雄
54.2	谷 川 種 雄
54.4	仁 賀 保 成 之
"	山 崎 文 治

任期を終了して

第十六代会長 吉田 富雄



就任にあたり私は親睦を第一とし、会員一人一人がロータリー活動に関心を持ち『みんなで作るロータリークラブ』の実現に向けて努力しよう、と呼びかけました。一年後の今日、幸いにもその目的を達して15年に亘る我がクラブの歴史に一頁を加え、次年度会長にバトンタッチ出来ますことをこの上もない喜びと感ずると共に、森幹事、溝口副会長、大久保SAAをはじめ役員、会員の皆さんの御協力に対し心よりお礼を申し上げます。

本年度は、ロータリー創立75周年並びに当クラブ創立15周年記念行事実施年度にも当りましたが、地味乍ら内に充実した行事を企画し、社会福祉事業への援助を含めて家族ぐるみの心暖まる式典となりました。アジア大会が韓国ソウルにて開催された為姉妹クラブとの友好を深める意味もあり、多勢の会員が参加国際親善につとめました。ライオンズ、JC、共催による水上先生のチャリティ講演会は好評をはくし、環境整備のための屑籠の贈呈、交通対策、老人、青少年活動への協力、奨学制度の増強等活発な行事を展開、公式訪問も恙なく終り、今年度初の試みとして新方式を採用したI・G・Fは秩父市へ10名の代表者が参加したのであります。職業奉仕ではボケイショナルガイドの作成や、常に四つのテストの徹底につとめ職業職場を通じて、ロータリーの何んたるかをPRいたしました。クラブ奉仕ではSAAの卓越した実践力と、水準の高いバライティに富んだプログラムと相俟って楽しい例会運営が行なわれました。新構想の会報は地区随一の好評を得、7名の会員増強100%出席率の達成、ポールハリスフェロー2名、財団3,500%顕彰、スポーツの振興、健康保全のための文化厚生活動、Xパーティ、観桜会を含めて、期末行なわれた盛大且つなごやかな親睦旅行に終止符を打つまで誠に充実した一年でありました。これは正に『みなさんで作ったロータリークラブ』の実践であり会報委員会、増強委員会が地区協議会で表彰された所以もここにありと痛感する次第です。

最後に重ねて皆様のご協力に感謝申し上げ事務局を始め蔭の協力者の皆さんにもご苦勞様でしたとお礼を述べ当クラブの弥栄えを念じつつ退任のあいさつと致します。

1979. 7~1980. 6

卓 話

54. 8. 1 横手会員「通運の仕事」
大貫会員「電話についての話」
8. 8 入間RC 堤可夫氏「日本民族の成立」
8. 15 赤田中央公民館長「出かける公民館」
8. 22 児童文芸家協会理事 打木村治氏「文学と飯能の風土」
8. 29 野々宮教育長「心の教育、体の教育」
9. 5 丘の上病院 延島信也博士
「管理者の精神衛生」
9. 12 小暮飯能警察署長「青少年の非行問題」
9. 19 英語教育審査議会委員 佐藤柳次郎氏
「英語と日本語の話」
9. 26 ブラジル在住 横手広司氏
「ブラジル在住 50 年雑感」
10. 17 聖望学園理事長 J・ウィズィ氏
「80 年代のアメリカ」
10. 24 入間RC 堤可夫氏「古代連合国家邪馬台国」
10. 31 飯能市環境経済部長 森本周次氏「飯能の環境について」
11. 14 綿貫文夫ガバナー「ガバナー公式訪問卓話」
11. 21 横田会員「叔父の死」
遠道会員「晩秋の信濃」
11. 28 繁田バストガバナー「ロータリー財団について」
12. 12 所沢RC 市川満哉氏
「俳句の字余り」
12. 19 文化財保護委員 双木利夫氏
「飯能焼きについて」
55. 1. 9 青木飯能市助役「新年のご挨拶」
駒野日高町長「新年のご挨拶」
町田名栗村長「新年のご挨拶」
1. 23 橋本会員「中高年のスポーツの現状」
市野会員「焼物の起源」
1. 30 平野バストガバナー 卓話と映画「ネパールのヒゲドクター」
2. 6 高麗神社宮司 高麗澄雄氏
「造り出された差別感」
2. 13 平岡会員「ロータリー創立 75 周年記念卓記」
- 新井会員
荒井会員
2. 23 nada いなだ氏
ロータリー75周年記念卓話「文明と心」
2. 27 吉島会員「ロータリー75周年記念卓話」
- 井上会員
細田(徳)会員
3. 5 第一生命所沢営業部長 田中幸一氏
「ライフサイクルと生命保険」
3. 12 三笑亭笑三師匠「話上手になって生活にユーモアを」
3. 19 陸上自衛隊一等陸佐 源川幸夫氏「日本の国防と国際情勢」
3. 26 証券調査センター参与 小川精一氏
「円防衛と国際協調」
4. 2 中根速記学校長 中根正雄氏
「すぐ役立つスピードメモ」
4. 9 萩野会員「法話」
4. 16 半田会員「前阪急上田監督の人間性」
佐野(清)会員「省エネと太陽エネルギー」
4. 23 作家 藤原審爾氏「人間とはどう云うものか」
4. 30 斉藤会員「成人病について」
5. 7 中里教育委員長「従業員教育について」
5. 14 埼玉県俳句連盟常任理事
吉野正雄氏「俳句のつくり方」
5. 21 東京調停協会会長 青梅RC会員
榎本栄蔵氏「裁判より調停で」
5. 28 聖学園短期大学2年生 飯塚嘉代子さん
「オーストラリア遊学とビッキーさんの近況」
6. 4 沢藤会員「宝くじについて」
柿沼会員「青少年非行の現況について」



例会食事風景



—誕生日おめでとう—

役員構成及委員長(1979.7~1980.6)

役員構成

会 長(理事)	吉 田 富 雄
副 会 長(理事)	溝 口 卓 男
幹 事	森 和 夫
副 幹 事	大 野 勝 男
会 計	沖 田 昭 三
S A A	大 久 保 一 郎
副SAA	大 市 川 清 二
理 事	福 田 禾 積
”	関 谷 昭 雄
”	川 崎 一 郎
”	五十嵐 喜 八 郎
”	新 堀 隆 治
”	細 田 德 二 郎
”	曾 根 丈 治 良

委員長

国際奉仕委員会	福 田 禾 積
ロータリー財団委員会	町 田 義 晴
社会奉仕委員会	関 谷 昭 雄
青少年委員会	武 藤 英 雄
環境保全委員会	林 幸 一
職業奉仕委員会	川 崎 一 郎
クラブ奉仕委員会	溝 口 卓 男
出席委員会	小 林 忠 雄
職業分類委員会	大 木 重 雄
会報委員会	加 藤 栄
ロータリー情報委員会	細 田 德 二 郎
親睦活動委員会	五十嵐 喜 八 郎
厚生活動委員会	大 野 康 夫

文化活動委員会	島 田 哲
雑誌委員会	萩 野 映 明
会員選考委員会	平 沼 保 夫
会員増強委員会	細 田 吉 春
プログラム委員会	新 堀 隆 治
広報委員会	石 井 照 雄



I G F 秩父市民会館前にて

入退会者(1979.7~1980.6)

入会者(7名)

54.8	橋 本 茂
”	市 野 四 一
54.9	半 田 正 夫
”	佐 野 清
55.1	沢 藤 聡
55.3	柿 沼 良 典
55.4	田 野 保 夫

退会者(4名)

54.8	浅 見 茂 男
54.11	田 中 一 夫
55.6	梨 木 三 六
”	加 藤 義 市



卓話、作家藤原審爾氏



卓話、作家打木村治氏

国際ロータリーアジア大会(韓国ソウル79.9.20) 参加スナップ

姉妹クラブ東清州 R C 代表の方たちと共に——。



ロータリー創立 75 周年記念行事

1979～1980 年度はロータリー創立 75 周年にあたり、世界的に記念行事が行われたが、当クラブでも荒井栄君が準備委員長となり、プログラム委員会（委員長 新堀君）、社会奉仕委員会（関谷君）、S.A.A.（大久保君）の協力のもとに次のような行事が行われました。

● 55 年 1 月 30 日

平野パストガバナーの卓話と映画

ヒゲドクターと住民から慕われている岩村昇博士夫妻がネパールにあって、医療施設の乏しいなかで、結核に悩む現地住民の治療に献身している姿を伝えるドキュメント映画と卓話は、会員に強い感銘を与えました。

そして平野パストガバナーは卓話の謝金を、ネパールへの救済募金の一部としてもらいたいと申し出されました。

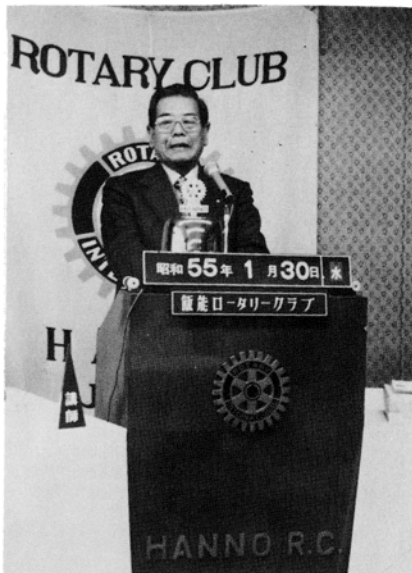
そして当クラブでは、平野パストガバナーの謝金を核とし、75 周年記念行事の一環としてネパールに対して医療援助を行いました。

● 55 年 2 月 23 日

なだいなだ先生記念卓話

岩清水で夜間例会を行い、なだいなだ先生の卓話を拝聴しました。

精神科医としての先生のユニークな発想に会員は大いに啓蒙されました。



講師

平野 寿
パストガバナー

「ネパール屋根のヒゲドクター」

皆様お久しぶりでございます。一昨年11月以来でございまして、会員数も増え、お元気で何よりと存じます。

今日のこの映画のその後はどうなったかと申しますと、岩村博士夫妻が引取って育てていた2才の少女マヤのお父さんは、煙草の行商をしていましたが、半年後の夜、谷に落ちて死んだとの事です。また、お母さんもそれから三ヵ月後に大咯血をして亡くなりました。マヤは18才となり岩村先生の愛のもとにすこやかに成長して、いま日本に来ているそうです。少年ハルカは、この映画のプロデューサーとカメラマンがお金を出し合い、奴隷だった父親の借金を返してやり、現在は親子一緒に農業をして暮らしているそうです。

岩村博士はこうして14人の子どもたちを育てたそうですが、そのうちの1人をネパールに必要な機械工に育ててやりたいとの事で、春日部RCでお引受けする事を話し合っております。

第10分区では、カトマンズRCとのプロジェクトにより過去2回にわたって協力し、現地を訪問しております。カトマンズでただ一つの病院に結核の外科手術の機材を送り、ベッドも揃いました。ロータリークラブの事業の一つともなっております使用済みの切手収集は現在までに8億枚が送られました。BCGにして45万人分、その他、レントゲン、薬等になっております。これはロータリーのみではなく、広く一般にあるいは団体等に呼びかけ、ロータリーを理解していただく糸口ともなり、更に小・中学生が切手を1枚切り取ることによって恵まれない多くの世界の子どもたちの命を助けることができるという奉仕の気持を植付ける大事な意味もあると思うのです。

2月は世界理解週間であり、国際ロータリー75周年の創立の記念としても、出来るかぎりのご協力をお願いしたいと存じます。

「文明と心」

私はアル中の専門医として、ある人が私のことをアル中医として日本で10指に入ると紹介したが、実は専門医は10人だったのです。今日は精神科の話をしませんが、大学の先生とは少し違って試験の答案にはなりません、実際の病気には役立つかも知れません。

私は最近煙草を断っていますが、これで5回目です。偉い人が禁煙すると、あの人だから出来ると思うが、私の様な者と、あいつに出来るなら俺にも出来るという事になり、どちらが役に立つか、偉い人の名譽にはなるが役立たない。私の診ているアル中患者はよく頑張るのです。何故かという、「先生治りますか。」「さあ、治るかなあ。」と言うものだから患者は私を頼りなく思い自分が「しっかりしなくちゃ」と発奮し頑張る訳です。他の病気でもそうだが、特にアル中患者の治療は本人が自分で克服しようと努力しているのを医者が自信を与えたりして横から手助けするだけです。酒を止めることは非常に難しい。アル中は酒をびたりとやめないと世間に通用しない。何年間も禁酒していても一寸飲むと元に戻ってしまう。大変な努力が必要だということがお解り頂けると思います。

肉体的な病気が原因で精神が異常になるのは(梅毒、脳腫瘍)その肉体的病気を治せばよい。精神そのものが症状を出している時精神が病むと考えるのは間違いなのです。精神の異常を医学的に明確にとらえようとしているが、常識的なとらえ方と区別できないものがあります。例えば不眠とか疲れです。これは定量的につかめない。一般に睡眠は8時間といわれますが、これは平均であり基準ではない。4時間の睡眠でも頭が冴えている人もいます。ギネスブックでアメリカの人は11日間起きてい

講師
なだ
いなだ
先生



たが14時間の睡眠で正常に戻った。眠りの借金は全部返す必要はない。今日眠るのは明日の為ではなく、今日の結果なのです。食べ溜めが出来ないのと同じである。神経症の人達は未来の為に身体を合わせようとするから無理が生ずる。睡眠不足で死んだ人はいない。不眠を治そうとして薬を飲み中毒になって死ぬ人はざらにいます。動物は眠りたい時に眠り、赤ん坊も同じです。人間は文化的に生きていますので親は赤ん坊を画一的な眠りに飼育してゆく、つまり人間は野性的な本能を飼いならして文化的な枠の中にはめ込んだ動物といえます。その野性が自由にならないからまた野性に戻り不眠症になるのです。栄養があってもまづい食事は不満が出て恐り出す様に、睡眠も他の人がよく眠っているのに自分が眠れないと不満が出て苦しむ。不眠症の人達同士で眠れば不満が出ません。私達が不足心を持つ事がつまりは不満で苦しむ事になるのです。「文明と心」という表題の意味もここにありますが、オーソドックスな話ではありませんが、この様な違った考え方もあるという事の参考としてお話を致しました。

物故会員の 冥福を祈って…

昭和49年以降亡くなられた会員の、ありし日の温顔を掲げて、友愛の思いを新たにすると共に、心から冥福をお祈りします。

るろりの火足しつつ酔ひきこの位置に 君みず音して湯が沸きている
榛野より—赤田喜美男—



故 石井 尊四郎氏

M27年9月13日生

S40年12月2日御逝去

会長石井先生の思い出

吉田 富雄

姉妹クラブの契りを結んだニュー清州RCを公式訪問のため、石井会長始め27名が、韓国親善旅行を行なったのは今から丁度10年前、1970年9月のことで、石井会長年度のビッグイベントであった。石井会長の公式訪問挨拶は、大方の予想に反して英語で始められた。そのスピーチは流暢で、態度も立派で国際的であった。先生は内緒で秘かに練習されたのではないだろうか。

ところで、大任を果たし安心された訳でもあるまいが、翌日の市内観光では会長行方不明となる大チョンボを仕出かした。異国のこと高齢でもあったので大騒ぎとなり、一同手分けして探し廻る一幕もあったが、その割にご本人はケロリ…。それ以来、先生の旅行には必ず奥様が同行されるようになったと伺っている。石井会長はユーモアのある人で、ご承知の通りヒゲを生やし人品卑しからざる立派な大先生であり乍ら、車を止め路上で焼芋屋さんから焼芋を買って食べる愛嬌の持主でもあった。私は幹事として親子のような気持ちで務めさせて頂いた。石井先生にとって何んでもない当り前の仕草でも、私から見れば大変興味深く、また強い印象をもって思い出に残っていることが多い。

先生は、多くの人から敬愛された大先輩であり、一級の紳士であった。



故 金子 重雄氏

T 5年3月30日生
S 50年12月7日御逝去

金子重雄氏を偲ぶ

曾根 丈治 良

昭和50年11月の末頃に、東村山に入院しておられた金子さんをお見舞にお伺いした時はいつもより、やつれておられたが元気よく話をされて、病院の退屈さを嘆いておられたので、私も「その元気さでは退院も間もないでしょう」と申し上げた位でした。帰りには病院の外まで送って来て、私の自動車が走り出しても、まだ見送っておられたのです。それから10日後の12月7日、はからずも訃報に接して改めて病院の庭で見送っておられた金子さんの姿が思い起されて、人生の無情を悲しみました。

金子さんは、群是製糸飯能工場から飯能製糸へ、そして上村さんの引退後社長に就任されて、政策商品ともいわれるむずかしい製糸工場の経営に日夜努力されておられたのでした。

名門群是出身だけにお行儀がよく、経理担当が長く、正確さが身につけておられ、ロータリー会報委員としても常に立派な編集に努力をされておられました。有りし日を偲びつつ謹んで御冥福をお祈り致します。



故 後藤 平吉氏

T 3年7月2日生

S 51年12月4日御逝去

後藤さんのこと

清 水 勇 三

「豪放磊落」こんな感じがピッタリのお人柄でした。「我が道を行く」、正にそのもので、人に頭を下げることをおきらいだったとかで先祖から伝わった酒造業をやめて、郵便局長になられたのもその現れだったのでしょうか。ワンマン的であり、眼ざしにするどさがあり、なんとなく近寄りやすい風貌ながら、反面意外に心やさしく世話ずきで、知人や隣人の相談事には、持前の義侠心で東奔西走しておられたことが良くありました。言わば、世情に通じた良き顔役でもあり、歴史ある高麗郷をこよなく愛した人でした。このような後藤さんも家庭にあっては意外にヤンチャで手数のかかる旦那様だったようで、ご主人を亡くされて世話の役柄のなくなってしまった奥様は、それがとってもさみしそうでした。かつて、日高RC設立については比留間先生と共に意欲的に行動され、その実現も近かろうと思われておりましたのに、意なかばにしてご兩人共に他界されてしまったことは、計り知れない損失であり、信頼する良き指導者を失ってしまったことは、今となっては殊更に無念さが残るばかりです。

だが、先生と共におろした日高RC設立の種が、ようやく芽吹きはじめようとしている今日この頃でありますことを付記して、十五年史に後藤さんを偲ぶことばといたします。



故 中 里 進 氏

M44年6月22日生

S52年12月14日御逝去

中里進さんの思い出

吉 島 力 良

49年6月、米国ミネアポリスで開かれたR Iの大会へは、当クラブから中里会長、比留間先生、それに私という気の合った3名が参加した。

旅行中、幸運にも私は何時も中里さんと同室で、文学芸術に造詣が深く、しかも心が温かくてお育ちのよい中里さんは、尊敬する実の兄のように感ぜられ、本当に楽しい、心の洗われるような11日間であった。

その後全会員の要望で分区代理に推されながら、体調思わしからず辞退され、間もなく病魔に倒れて急逝されたが、当クラブにとってかえすがえすも大きな損失であった。

今でも、スピッツを胸に抱きながら、ニコニコと応対してくれた温容を思い出すたび、「中里さんこそ、生まれながらのロータリアンだったのだなあ……。」と思う。



故 比留間清治郎氏

T 4年11月15日生

S 53年2月22日御逝去

比留間先生の思い出

吉島力良

当クラブには創立以来、多くの会員が入会して来たが、その中で人気のあった会員の一人に、比留間先生を挙げて異存はないと思う。先生と私は、お互いに患者と関与先という関係で、腹藏なくロータリーを議論した間柄だったため、会長に就任する時、直球一本槍投手のような私は、変化球の上手な比留間先生に副会長となって貰い、大いに助かった。

特に日高クラブの新設を目指して、多数の新会員を増強して頂いたのは忘れられない思い出である。

当時既に「ロータリーの友」の編集委員をされ、地区内外に有名だった先生が、会長を終えてから日高クラブを創設、やがてはガバナーになるものと確信していた私にとって、会長就任直前に病を得、この世を去られた事は、この上ないショックであった。

先生が心血を注いだ当クラブの「十年史」を見るたび、「幻のガバナー」比留間先生を惜しむのは私だけではあるまい。



故 大 沢 昭 氏

S 7 年 4 月 17 日 生

S 54 年 1 月 9 日 御 逝 去

大沢君について

荒 井 栄

大沢君は比留間先生の紹介で昭和 48 年 9 月 5 日に入会、以来彼独得の社交性に富んだ性格から、クラブに溶けこみも早く、それぞれ各委員会において独得の活躍をされた姿が思い出されるが、特に S.A.A.としての活動は同君の最も得意の一面がうきぼりされたように思われる。例会ごとに何かと趣きをかえた計画を出し、よく相談をうけたものである。

彼の一見うける体格からは何か重厚なものがあるように感じられるが、実際には非常に細心で、注意深く、いろいろな計画に際しては考えられないような几帳面さを発揮し、その実行に際しては自らを殺してまで、その運営のスムーズさに協力をおしまなかったことが強く印象に残っているものである。

このことは、私自身クラブのことだけでなく、業界の運営についても色々と積極的なアドバイスをうけて、その思い出は数限りなく走馬燈のように浮かんでくるものがあります。全く同氏があのような人生の終りを迎えようとは考えられないことで、なくなる半年前、自分自身身体の変調を自覚されたということですが、全く残念の一言につきます。今日、日高にロータリーの灯がともされようとしているとき、今更のように惜しまれてなりません。

後 記

創立15周年を迎えて年誌を発行する運びとなりました。飯能ロータリークラブには立派な10年誌があり、この15年誌は来るべき20年誌への懸け橋という意味のもとに作らせていただきました。

加藤委員のアイディアにより、創立時からの年表を作成し、主要な行事は年表内に収録しました。

記事については、もっぱら11年以降のクラブ内のことのみにしぼり、ロータリーの沿革、創立時から10年間の記録等は割愛させて頂きました。

島田委員は当初編集委員として名をつらねていませんでしたが、1978～1979年度に会員家族の写真集を完成させた手腕を買い、たって15年誌の編集委員になってもらいました。

15周年の記念式典は1979～1980年度中に行われましたが、編集にあたって、その年度中の記録をどうとりあげるかということが問題になりました。

記念式典の記録だけにとどめるか、それとも年度初めから記念式典までの記録を載せるか、あるいは年度中の全部の記録を網羅するかということを検討した結果、全部の記録を年史に掲載する方針をとりました。

そこで年度終了をまって編集に着手したため、発行が遅れてしまったことを心から御詫び致します。

歴史をつらぬく精神は愛惜の気持であるといわれますが、年史を編集しながら、どの行事にも懐かしい思い出がつきまとい、1枚の写真、1行の記事も取捨選択に迷いました。

ご覧になって意に充たない所も多々あろうかとも思いますが、その点はロータリーの寛容の精神に甘えさせて頂きたいと存じます。

昭和55年10月

15年誌編集委員

森 和 夫
加 藤 栄
島 田 哲

飯能ロータリークラブ15年史

昭和55年10月25日 印刷刷

昭和55年10月30日 発行

発行所 飯能ロータリークラブ

埼玉県飯能市本町1番7号

飯能商工会議所内

印刷所 株式会社文化新聞社

埼玉県飯能市柳町12番10号
